

ファミリーサポートセンター事業をより 利用しやすくしよう！

町田市議会 令和二年度第四回定例会 一般質問 矢口まゆ

ファミサポを、より市民に身近な存在にするには、利用に際しての①ハードルを下げる②不安を取り除く ことが必要ではないか。

- ファミサポの援助会員は3日間もの講習を受講！→講習の内容を詳しく公開すれば「こんな細かいことまでしっかり講習を受けている方なら安心して預けられる」と思ってもらえるのでは。
- どこでどんな風に、どんなタイミングで利用するかイメージが付かないと言う人が多い→「安心で安全で、人の目があり子どもや保護者が通いなれている」場所での利用が可能であると広く広報しては。子どもセンターや子どもクラブでも利用できる事をもっと広く周知してはどうか。

現在町田市で対応していない 病児、お泊りについて

- 19時までのため、残業して帰る場合には間に合わない家庭も多いはず。
- 町田市では病児対応、お泊り対応は不可となっている。
- 日中は病児保育があるが、夜間は頼れる先が無い。
- 2才以上は、マルガリータで送迎可能な宿泊保育が実施されているが、2才未満の宿泊保育CoCoでは送迎が無いため、アクセスの関係上利用が困難な家庭もあると考えられる。ファミサポでお泊り対応をする必要があるのではないか。

利用登録の場所や機会の充実について

- ファミサポは、追い詰められた子育て中の家族を救うセーフティネットにもなり得る。
 - 心身共に追い詰められている親でも登録しやすくあるべき
 - 「誰かに助けて欲しい。」そう思う状況で、幼い子どもを連れて一緒にせりがや会館まで行ける人がどれだけいるのか。
(せりがや会館に登録いくために子どもを預かってほしい…という声も…。)

利用登録できる場所が現在はせりがや会館に限られている。
駅からも遠く、電車を乗り換えてベビーカーを押して向かうのは非常に大変な事である。
登録場所や機会を増やすことはできないか。